

奈商だより

志高く 輝け 翔ばたけ 奈商生



1年生探究活動 炭鉱業を学ぶ

9月24日(火)本校1年生は総合的な探究の時間において、地元の産業や企業を理解するため奈井江町に本社を置く(株)砂子組様が管理されている三笠露天坑と奈井江混炭場を見学させていただきました。

スライドで事前に説明を受け、その後、露天坑の現場を見学。実際に目の当たりにするとそのスケールの大きさに圧倒されました。現在掘られている工区は200メートルの深さがあり、60トンダンプが15台、120トンクラスのパワーショベルが3台作動しています。通常工事現場で使用されているダンプは4～10トンクラスで、60トンクラスはまず見ることはありません。生徒たちもその大きさに驚いていました。岩盤層と石炭層が崩れやすく、頭上にも細心の注意を払って作業していくのが大変だと担当者はおっしゃっていました。休憩時には昼食は砂子組様がカレーライスを用意していただきおいしくいただきました。

学びの中で三笠露天坑で採掘された石炭を奈井江混炭場にて北電から求められている熱量(4800Kcal)になるよう石炭を調合してから粉碎して製品化していることが分かりました。

石炭はCO2排出で問題視されている面はあるかもしれませんが、胆振東部大震災の際には砂子組が採掘した石炭が砂川の火力発電所で使われ、大停電(ブラックアウト)からの早期の復旧に非常に役に立ったということがあります。働いている社員の方からこの仕事に対する誇りを持って従事されている雰囲気が感じられました。

令和8年度には採掘作業は停止になるということで、日頃からエネルギー資源や利用に関心を持つことが大事だと感じました。(株)砂子組様、この度は大変ありがとうございました。



科学部、砂金を取る

科学部3名は、9月19日(木)滝川高校での高文連空知支部理科研究発表大会に参加しました。午前は、支部3校、合計12テーマの研究について意見交換し、今後の参考になりました。昼食後、バスにて新十津川総富地川河原へ、砂金堀り地学巡検を行いました。バスで長靴に履き替え、山道を歩き、現地に着いた後、パンニング皿を手にとり、北海道砂金史塾の方々の支援を得て、スコップで川砂をとり、皿から石や砂を流し出し、真剣に砂金を探しました。皿に残ったわずかな砂から砂金らしいものを見つけるたびに、砂金史塾の方に見ていただき、スポットですくってもらいました。晴天にも恵まれ、生徒の皆さんは、元気に楽しむことができました。



3年生豊嶋君ハウスヤルビ町へ出発！

奈井江町はフィンランド国ハウスヤルビ町と友好都市の関係があり、隔年で視察団を派遣しており、本校の卒業生も参加させていただいてきた経緯があります。コロナ禍の中実施できない時期がありましたが、今年度久しぶりに視察団を派遣することになり、本校3年の豊嶋大樹君が参加する運びになりました。9月26日から10月4日までの9日間の日程でフィンランド国に滞在することになりますが、本校でも奈井江町役場でも出発式を行い、役場での出発式終了後に元気に空港に向かいました。是非多くを学んで帰ってきてほしいと思います。



令和6年10月の行事予定

10月1日(火)	後期始業式	10月17日(火)	スポーツレク
10月2日(水)	生徒会各種委員会	10月25日(金)	上級学校見学(1年)
10月9日(水)	空知地区商業研究会	10月27日(日)	ワープロ新人大会
10月11日(金)	1日防災教室	10月29日(火)	町長と語る会(3年生)
10月14日(月)	スポーツの日		